

※「はらまち九条の会」は、超党派の自由な市民のゆるやかな会で、匿名でもけっこうです。現在の会員414名に。さらに会員を募集中です。年会費千円をお願いしています。



九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No.138

2010(平成22)年 6月23日(水)発行

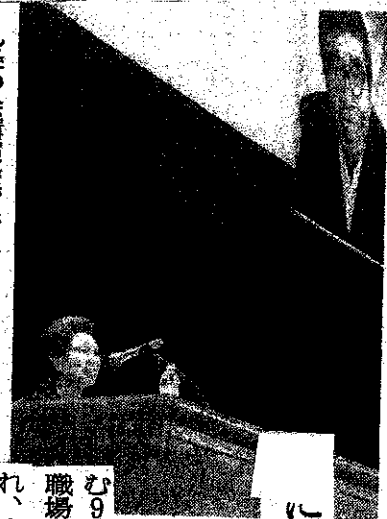
<1945(昭和20)年6月23日、沖縄の日本軍壊滅。「沖縄慰霊の日」>

●4月1日、米軍は沖縄本島に上陸し、以来八十余日の「鉄の暴風」の猛攻撃で20万人超の犠牲者を出す。●6月13日、午前4時30分、日本軍司令官牛島満中將は、激戦地の摩文仁(まぶに)で参謀長とともに割腹して自決する。●それから65年後、牛島の孫の牛島貞満(さだみつ)さん<写真>は小学校教員になり、祖父満の責任の重さを踏まえ、7年間平和の授業を続け、「軍隊は住民を守らない。沖縄戦から学んだことです」と話しています。(6月22日「朝日新聞・ひと」)



全国で「九条の会」はもう7,507に増え、モグラたたきのように つぶされません (澤地久枝さん)

九条の会講演会で井上ひさしさんの思い出を語る作家の澤地久枝さん



「変な風が吹いてきた」

九条の会で澤地久枝さん

む9人の呼びかけ人で発足した。地域や職場ごとにたくさん的小グループが生まれてきた。その数は、今年4月の時点で7507を数える。「最初のモグラは9人だったのが、今は全国で無数に増えた。権力の側がハンマーでいくらたいても、もつつぶされないとこまで6年かけて来た」

9人の呼びかけ人のうち、小田実、加藤周一両氏に続いて、井上ひさし氏が4月に亡くなった。澤地さんは「井上さんは、(最後の戯曲となった)『組曲虜殺』で、後に続く者を信じて走れ、と書いた。志を継いで、少しはちゃんと生きていきますよ、約束したい」としのんだ。

「日本列島に変な風が吹いてきた」。

19日、東京・日比谷公会堂で開かれた九条の会講演会で、作家の澤地久枝さんは、日本を「大きなモグラたたきのステーション」にたとえて、こう切り出した。モグラは、たたかれてもたたかれても顔を出す護憲の勢力。「変な風」とは、憲法改正に積極的だった政治の風向きが変わってきたことを、あえてそう表現した。九条の会は2004年、澤地さんを含

6月19日、東京・日比谷公会堂「九条の会」講演会

■政権交代があり、鳩山政権もたった八ヶ月で菅政権に変わり、混乱の政局です。■改憲の動きや、「九条の会」活動そのものも全国的にどうなのだろうと不安な方も多いことでしょう。■でも、右新聞記事(六月二十八日付「朝日」)のように、6月東京で開催の「全国九条の会講演会」では、井上ひさし氏の追悼と同時に、国民の間に「九条を守ろう」や「護憲」の意識は案外根強く浸透してきている(澤地久枝)との講演がありました。楽観的でしょうか。

『会報』8月15日終戦記念日号に原稿をお願いします!

65回目の終戦記念日に、この会報「九条はらまち」は終戦特集号を発行します。そこで①終戦記念日で思い出すこと、考えること、②憲法9条について、③戦争と平和についてのテーマで皆様から原稿を募集いたします。締め切り8月5日、600字以内、お名前明記で、事務局山崎健一宛に郵送してください。ご協力をよろしくお願いいたします。



「ゆうちょ口座」を 新設しました！

◆本会の年会費は例年12月末日までに納めていただきましたが、今年から8月15日を目安に納入くださいますようお願いいたします。◆恐れ入りますが、8月15日まで未納の方にのみ、8月の会報郵送と同時に「郵便払込み用紙」を送らせて戴きます。悪しからず、ご理解ください。

◆また「ゆうちょ」の口座を新設しました。**あなたの「ゆうちょカード」を使い、ATMでゆうちょ銀行の「はらまち九条の会」口座に送金すると、手数料はかかりません。**手数料なしで何千円でも送金できます。◆ご承知とは存じますが念のため、送金方法は<右>の通りです。

郵便局のゆうちょ銀行・ATMでの送金方法

画面の「送金」を押す⇒「ゆうちょ口座への送金」を押す

⇒「次へ」を押す⇒「ゆうちょカード」を入れる

⇒「自分のカードの暗証番号」を押す

⇒「記号」を押す⇒記号の「18260」・「確認」

⇒「番号」を押す⇒番号の「16187701」・「確認」

⇒金額を打ち込む

↓
メッセージを送る必要はないので「いいえ」を押す

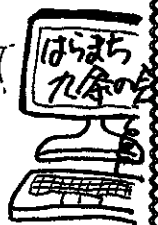
↓
登録するなら「はい」(次回から手続きが省略できる)を押す

↓
⇒終了

※これは「ゆうちょカード」から「はらまち九条の会のゆうちょ口座」に送金する場合で、手数料がかかりません。

※銀行口座カードから送金の場合は手数料がかかります。

「はらまち九条の会」の ホームページ開局から半年 会員 大浦 祥見



はらまち九条の会ホームページは、2009年12月25日にオープン致しました。用紙で発行している「会報第1号」が2005年12月24日でしたので、何とか記念して4年後のその翌日の12月25日に開局いたしました。

当初、数人で立ち上げるつもりでしたが、都合のつく人のみでやっと開局できました。今もまだ空っぽのページもありますが、会報「九条はらまち」全号と、当会独自の「看板」、はらまち発案の「ワッペンマーク」、それに、おそれおおくも「第9条の原文」を記載しております。

会報は137号まで全号を表示済ですが、それには原町の「史実」がのっています。フエー？本当？ウソー、まさか？コレイヤダーなど、若い人がビックリするような、全く知らない知られていない内容（大変むずかしー）ですが、地元原町の歴史で本当のことです。

これからは中身を充実させる段階で、なんとかみんなのホームページになるよう努めます。ひとつだけ内情をお知らせすると、ドメイン使用料とサーバー通信料は会費の会計でまかなっていますが、パソコンは個人のものをお借りしての運営です。数人で運営できますので、ホームページ作成に協力できる方、大募集します。

(ただし、担当は手当無しです！)。

全世界で日本の「憲法第9条」が注目されています。反対にウソもばれてきています。沖縄の普天間基地は、もともと占領軍が了解も無く勝手に作った日本の領土です。これからが「九条の会」の出番です。みなさんで「はらまちのホームページ」を楽しく作って行きましょう。

南相馬市でも 子どもたちを ヒロシマ・ナガサキ・沖縄などへ 平和体験教育はとうでしよう？

お隣の飯館村では、「まぐい教育」の一環として、子どもたちに体験教育を取り入れていきます。昨年までは小学六年生を対象に船で北海道へ。今年は命の教育に重点を置き、沖縄県へ行きました。6月下旬から三泊四日で、沖縄戦の戦跡や平和の礎(いしじ)、ガマを見学したり、異なる文化にふれました。

一昨年の本会総会でも会員から提案がありました。南相馬市でも姉妹都市ペンドルトンとの交流とともに、ヒロシマやナガサキ、沖縄などへ、小中学生を引率し、平和体験学習などはどうでしょう。



▲飯館の児童たちは沖縄のガマに入り、1分間だけ明かりを消し、戦争当時ガマに避難した人々の恐怖を体験した。

(7月7日付『福島民報』より)